

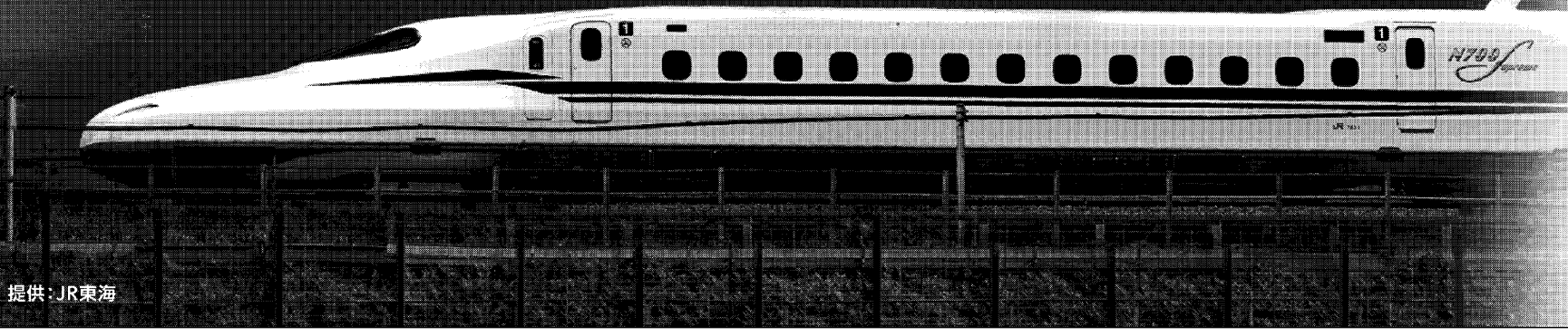
祝 東海道新幹線 開業60周年



鉄道システムの進化に向けて JAEのつなぐ技術が貢献します

1964年の東海道新幹線開業以来、人々のくらしや想い、そして夢をつないできた新幹線。JAEは、電気連結器をはじめとする高信頼・堅牢なコネクタや高輝度液晶型速度計で新幹線をささえてきました。私たちは、さらなる鉄道システムの進化に向け、車両/信号など各種鉄道関連機器へ、つなぐ技術で貢献していきます。

電気連結器 新幹線用電気連結器 新幹線車両間の電気や情報をつなぐ機器	QE6シリーズ 3U4HPラック対応レバー嵌合式EMI対策角型コネクタ 保安装置をはじめとした床下、床下の各機器に使用
JK06シリーズ VG95234規格準拠・防水型丸型コネクタ 空調装置や主電動機など床下・床下機器や、信号機など屋内外機器に使用	高輝度液晶型速度計 高信頼性速度計 新幹線の運転台に使用



提供:JR東海

提供:JR東海

JAE 日本航空電子工業株式会社 国内営業拠点 仙台・宇都宮・東京・豊田・大阪・福岡
国内生産拠点 昭島(東京)・弘前(青森)・新庄(山形)・上野原(山梨)・松川(長野)・福井(福井)
海外拠点 アメリカ・メキシコ・イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スウェーデン・フィンランド・シンガポール・フィリピン・香港・台湾・中国・韓国

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1 <https://www.jae.com>

2024.10.14 鉄道の日

東海道新幹線 開業 周年



東海道新幹線が東京・新大阪間で開業し、10月1日で60周年を迎えた。世界初の高速鉄道である東海道新幹線は、車両設計技術や運行システム技術の高さから、技術立国日本の代名詞の一つとして確立され、日本の産業や経済を支えている。

高い安全性・正確性 海外展開狙う

2020年から運転する新型車両のN700Sは、走行時の抵抗を低減した先頭形状を採用。床下の駆動システムには炭化ケイ素(SiC)半導体を活用し、小型・軽量化を図った。26年度から28年度にかけて17編成の追加投入を控える中、一部の編成には従来、点検用車両の「ドクターイエロー」で行っていた検測機能も搭載する予定だ。また、ネット予約やチケットレス乗車を提供するなど、デジタル技術を活用してサービスマンも常に充実させていく。さらに、地震時の脱線による被害拡大を防ぐため、脱線・逸脱防止対策が進められている。車両の脱線



0系車両の運転士が当時使っていた鉄道時計

夢の「超特急」0系車両をモデルにした童謡「はしれちようとうつききょう(走れ超特急)」で歌われた夢の速度である時速250キロ(営業運転は210キロ)は、今や最高時速285キロで運転されている。JR東海は日本の大動脈輸送の役割を担う東海道新幹線の競争力を維持・強化するため、安全かつ正確、高速、高輝度・大量、環境適合、快適という特性に磨きをかけている。開業以来、乗車中の乗客の死亡した列車事故はゼロを継続している。



N700Sは2020年7月1日「のぞみ1号」から始動した(JR東海提供)

N700S「ドクターイエロー」機能搭載 このほか東京、静岡、名古屋、京都、新大阪の5駅に、観光スポットやグルメなどを取り上げた60周年記念デザインのフォトスポットが10月末までの予定で設置され、来場者を楽しませている。

60周年記念ロゴマークに加え、新幹線の運行を支えるJR東海・グループ社員をはじめ、スポーツ応援やさまざまなシーンで新幹線を利用する乗客、沿線地域の名物・観光スポットをイメージした「ミニロゴ」を新たに60種類制作した。サイト内ではミニロゴ図鑑として、解説を交えて掲載している。また11月30日までの期間で、スタンプリーも実施している。



よみがえれ「0系」

昭島市がクラファン

東京都昭島市のつつじヶ丘公園に新幹線0系車両が設置され、市民図書館として多くの人々が利用してきた。今、昭島市はクラウドファンディングを活用し、化粧直しに向けて広く協力を求めている。0系車両がつつじヶ丘公園にやってきたのは、1992年4月。73年に山口県の車両メーカーで、100番目の車両「21-100」として製造され、91年10月に引退。市民図書館分室として開館し、「新幹線電車図書館」の愛称で多くの人に親しまれ、多くの思い出とともに余生を過ごしてきた。2020年3月、教育福祉総合センター内に市民図書館が新たに開館し、新幹線電車図書館は借しまれながら閉館した。昭島市は解体や売却は行わず、市の大切な財産として未来へ残すことを決めた。車両はサビや塗装の劣化が進行している。車両を未来に残すには、これを修繕し、劣化の進行を止めることが喫緊の課題となっている。こうした中、クラウドファンディングによる協力で、車両を美しくよみがえらせ、そこに屋根を架け、開放的な憩いと交流の空間を提供することを目指している。第一期募集(23年9月29日から24年9月29日まで)は、目標金額1500万円に対して98%を達成。現在は24年12月26日までを予定する第二期募集を行っている。(写真は昭島市提供)



クラウドファンディングの先陣を切る

ウェブでニュースはいかがですか？



ニュースイッチ NEWSWITCH <http://newsitch.jp/>

■ ニュースイッチとは？ 日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく。話題のニュースから、小さいけれどちょっと面白いニュースを幅広い読者へ。そしてニュースを起点に、コミュニティを少しずつ作っていったらと考えています。

■ 独自のテーマ ニュースイッチ編集部が独自に企画・取材した特集記事をはじめ、新聞とは一味違う切り口でニュースをお伝えします。

■ 記者が記事選定・コメントをプラス 日刊工業新聞の記者がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。記事や取材背景を解説します。

日刊工業新聞社